

平成 27 年度築理会

総会・講演会・懇親会のご案内

本年は建築学科発祥の地である神楽坂キャンパスに於いて築理会総会を開催いたします。講演会は「東京スカイツリー六三四に挑む」と題して、本学機械工学科卒の富田英雄氏にお話しいただきます。是非とも多数の皆様のご参加を頂き旧交を温めたいと思います。

記

1. 日 時：平成 27 年 5 月 16 日（土曜日）
2. 会 場
総会、講演会：東京都新宿区神楽坂 1-3
神楽坂校舎 1 号館 17 階講堂
懇親会：東京都新宿区神楽坂 2-6-1
PORTA 神楽坂 6 階「理窓会倶楽部」
3. 日 程
総 会：午後 2：30～午後 3：30
講演会：午後 3：30～午後 4：40
懇親会：午後 5：00～午後 7：00
築理会会費納入の有無にかかわらずどなたでも参加できます。
4. 会 費：4,000 円（当日会場にて申し受けます）
5. 講演会
「東京スカイツリー六三四に挑む」
講演者：富田 英雄 氏
(株)富田製作所 専務取締役 製造本部長
昭和 56 年・理工学部機械工学科卒)
6. 参加申込
出席の方は下記宛に「氏名・卒年・連絡先」をメールまたは FAX にて 5 月 8 日までにご連絡ください。
築理会会長 林 孝夫
E-mail: godhopping@yahoo.co.jp
hayashi.takao@tokyu-cnst.co.jp
FAX: 03-5876-1614（工学部建築学科教室）



昨年の総会・懇親会の様子

OB の高橋治氏が一部建築学科教授に就任

この 4 月より、母校の工学部第一部建築学科、教授を拝命いただいた、高橋治です。前職は、(株)構造計画研究所で主に建築構造設計・監理や耐震診断・改修設計の経験を積んでまいりました。

私はちょうど 30 年前の 1985 年に東京理科大学に入学し、研究室は平野研究室で修士課程まで修了しましたが、勉学より在籍した合気道部に一生懸命だった気がします。

2006 年には、松崎先生に御指導いただき、構造設計を通して開発した、制振オイルダンパーの研究を整理して博士（工学）をいただきました。

これからは、理科大学 OB の教員として、建築構造の分野に限らず、学業界と産業界をブリッジすべく活動していきたいとこれからの生活を楽しみにしております。築理会のバックアップがありませんと私の存在意味が無いとも思っています。これからも、築理会の皆さまの経験や活躍を教育に活かしていく所存です。まだまだ、未熟な私ですが、今後とも本当に宜しくお願ひいたします。（高橋治：1989 年一部建築学科卒）



3 月 22 日に行われた高橋研究室懇親会の様子
恩師・平野先生と理科大 OB 有志が集まり、高橋教授の新たな門出を祝した

工学部第二部は今年度の新入生が最後に

皆様、理科大のホームページなどでご存知のことと思いますが、工学部第二部は平成 28 年 4 月をもって新入生の募集を停止します。すなわち、今年度の新入生が最後の学生ということになります。

第二部建築学科は昭和 51 年 4 月に創設され、これまで数多くの卒業生を輩出してきました。第一部建築学科卒業生であった郷田桃代先生（第一部建築学科教授）は第二部建築学科の沖塩研究室に所属され、小生もまた清水研究室の出身です。募集停止の情報は組織に所

属する関係上、皆様よりも若干早く知る立場にはあったのですが、研究室時代の学友や二部ならではのユニークなOB・OGの顔ぶれが思い出され、複雑な思いがよぎったことは偽らざる心境です。

一方、今回の募集停止は、研究拠点としての葛飾キャンパスへの移転を機に、工学部第一部と第二部を工学部に再編して他の有力大学に伍する組織体制を築くための、組織改革の一環として実施されます。第一部建築学科の定員も本年度より90人から110人に増員されました。その意味で、第二部建築学科にとってこれは「廃止」ではなく、更なる「発展」に向けた一歩と位置付けられます。

本年度、第一部建築学科はOB教員としての高橋治教授をスタッフに迎えました。同じくOBの栢木まどか先生も昨年度から第二部に着任されています。今こそ大きな飛躍のチャンスです。新しくかつより強力な「工学部建築学科」を築き上げるため、築理会OBの皆様におかれましては今後も絶大なるご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

(今本啓一：工学部第二部建築学科主任)

平成26年度東京理科大学工学部第一部建築学科卒業制作講評会・築理会賞審査会

葛飾キャンパス研究棟7階 発表会場 2015.2.14 [土]

建築学科での教育の最終ステージにある卒業設計。これを常勤の教員・非常勤講師・同窓会メンバーが集まり、その出来栄をさまざまな視点から共同講評するスタイルは、他にあまり例がない。実務にいる側からすれば、学生たちがその重要な節目で何を考えているかを知ることは、とてもワクワクする時間である。ずっと続けてほしいものだ。この日の前半で、予め選出された12の優秀作品のプレゼンテーションが行われた。学生たちは、それぞれにとってかけがえのない場所を敷地に選んでいる。いずれも、土地の特性を見極め、そこにある課題を切れ味よく解決してみせていた。

後半は恒例の、築理会賞公開審査会となる。今年の審査は佐野吉彦（安井建築設計事務所、1979年卒、委員長）、広谷純弘（アーキヴィジョン広谷スタジオ、1980年卒）、村井達也（日建設計、1987年卒）、山本力矢（SANAA、2000年卒）、虎尾亮太（隈研吾建築都市設計事務所、2005年卒）の5名のOBが担当した。前半を終えた後、審査員で4作品（根本、五十嵐、吉川、笹井の諸君）を選び、追加の質問やさらに密な議論を重ねた。最終的には1点の賞を選ぶところで2案が競りあうことになった。

ひとは木場の水面に木材を使った集合住宅を浮かべた笹井君。システムは良く練られており、木という素材への愛情も感じられる。しかし、彼に代表される

ような、敷地のすべてを強くコントロールしないタイプは、造形の完成度・達成度が十分でない印象を与える。築理会賞を獲得した五十嵐君が提案した渋谷の高層商業空間は、シャフトや柱にからめてボックス型店舗を配するもの。その留めつけ位置はバランスを勘案して決められている。魅力的な造形であり、そこに軍配が上がったが、将来ボックスが追加配置する想定もあり、現時点での形態は変化する可能性がある。

彼ら2人の案を含めて総覧すると、選んだ敷地での解決からどのような普遍的な知見を得て、それぞれの良いアイデアの先にどのような展開を構想していたのかという点は、やや物足りなかった。できれば、この段階で筆を置かずに、また頭を休めずに、さらなる追究を続けてほしいと感じた。

(佐野吉彦：1979年一部建築学科卒)

築理会賞受賞者発表

平成27年3月19日東京理科大学の学位記・修了証書授与式が行われました。式典終了後、築理会賞の受賞者が発表され、林会長から各受賞者に賞状と副賞が贈られました。

- ・工学部第一部建築学科
 学業成績優秀 仲尾 梓（ナカオ アズサ）
 卒業制作優秀 五十嵐 大輝（イガラシ タイキ）



一部学業成績優秀 仲尾 梓さん



一部卒業制作優秀 五十嵐 大輝さん

・工学部第二部建築学科
 学業成績優秀 田上 雅朗(タガミ マサオ)
 卒業設計優秀 福尾 智(フクオ サトル)
 受賞者の皆さん、受賞おめでとうございます。



二部卒業設計優秀 福尾 智さん

理科建築展リポート

「理科建築展」は工学部Ⅰ部・Ⅱ部・理工学部の有志学生による合同卒業制作展です。東京理科大学には三つの建築学科がありますが、交流する場がありませんでした。そこで、工学部Ⅱ部と理工学部の知り合いに声を掛け合い、卒業制作展を企画しました。卒業制作は学生生活の集大成といえる作品です。作品を通じた交流は三学科の繋がりを生むきっかけになると考えました。



葛飾キャンパス(食堂2階)

昨年は2014年4月2日(水)～4月8日(火)の7日間、葛飾・野田キャンパスで同時開催しました。三学科計30名が出展し、葛飾キャンパスでは模型とパネルの展示を、野田キャンパスではパネルの展示とスライドショーを行いました。葛飾では、町に開かれた新キャンパスを生かして、建築学科と町が繋がる場となることをテーマとしました。そのため、企画のタイトルを「みんなで選ぶ建築の未来」とし、来場者に好きな作品にシールを貼ってもらいました。

結果、地域の方々を含め400人以上の来場者がありました。展示会場は学生と多くの子供連れの家族で大変賑わいました。

今年は2015年4月2日(木)～4月7日(火)の6日間の開催となります。展示に加えて、ポスターセッションによる意見交換会を予定しています。これから



野田キャンパス(2号館エントランス)



懇親会

基礎杭に、
 新たな価値を創造する。

回転貫入鋼管杭ジ-・エクス・パイル

G-ECS PILE

昭和48年工学部建築学科 代表取締役 三輪 富成 専務取締役 小川ひろし

株式会社 **三 誠**
SANSEI INC.
<http://www.sansei-inc.co.jp>

Tel.03-3639-5226
 Fax.03-3639-8162
 info@sansei-inc.co.jp

〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町4-3 国際箱崎ビル3F

北海道営業所: Tel.011-252-2556 新潟営業所: Tel.025-242-2180 中部営業所: Tel.052-203-8551
 東北営業所: Tel.022-217-8105 北陸出張所: Tel.076-231-0750 西日本支店: Tel.06-6233-7300
 東日本支店: Tel.048-813-6612 九州営業所: Tel.092-433-5833
 茨城営業所: Tel.0296-70-5015 沖縄営業所: Tel.098-860-3700

Great
Ecology
Cost
Safety

も交流を続けて行くことで、理科建築展が東京理科大学の架け橋になることを目指していきます。

2015年3月
(砂川晴彦 伊藤(裕) 研究室 修士1年)



集合写真

第7回 築理会新年会開かる

今年も例年通り、築理会新年会が1月21日(水)、PORTA 神楽坂6Fの理窓会倶楽部にて開催されました。

1期から45期までの工学部建築学科OB、34名に加え、理工学部、野田建築会から会長副会長の2名の参加があり、計36名のご出席となりました。

また、現役院生にも、受付等のお手伝いで3名参加していただきました。

軽い食事、お酒などのテーブルを囲み、それぞれの同期生や仲間同士の歓談が行われる中、参加者からは、日ごろの個人体験や、様々なイベントの紹介、現在の仕事にかかわる経験談等、お話があり大変和やかで楽しいひと時を過ごすことができました。

5月の総会懇親会に加え



平成27年会費納入のお願い

現在、平成27年度の会費の納入をお願いしております。同封の振込用紙にて、お振り込み下さい。

今後のさらなる築理会発展のため、多くの方のご協力をお願いします。

年会費 3,500円

加入者名 築理会

口座番号 郵便局 00110-5-171952

毎年の恒例行事として定着してきておりますので、来年も皆様のご参加をよろしくお願いいたします。

(渡辺一男：1972年一部建築学科卒)



「編集後記」

ここ数年で理科大建築学科全体は新たなフェーズに入りつつあるようです。工学部一部建築学科の葛飾キャンパスへの移転と定員増員、二部建築学科の新入生募集停止。理科建築展のように3つの建築学科をつなぐ新たな試みが始まり、この春には学業界と産業界をブリッジすべく高橋治教授が母校の布陣に加わりました。日本が成熟社会に入る21世紀は、分業社会から統合社会へと変化する「つながりの時代」と言われ、わたしたちが専攻してきた建築の語源にはそもそも統合する技術者という意味があるとも聞きます。築理会の活動もまた、そんな変化をサポートする一翼を担っているのだと思います。会報も今号はいつもと違う4ページバージョンでお届けします。

(安達功 = adachi@nikkeibp.co.jp)

築理会報 2015 春号

2015年4月発行 Vol.55

発行所 : 東京都葛飾区新宿 6-3-1

東京理科大学工学部一・二部建築学科

築理会事務局 会員問合せ chikurikai@gmail.com

FAX 03-5876-1614

編集長 : 安達 功

編集委員 : 石神一郎、大岩昭之、野田正治、藤森正純、荒井真

一郎、広谷純弘、増村清人、森清、伊藤学、高橋潤

子、松浦隆幸、山名善之、平賀一浩、栢木まどか、

深野有紀、大槻尚美、野村奈菜子

印刷発送 : 中桜印刷株式会社

